

クローズアップ



共同の宣言文を掲げる城崎宮津市長（左）と山添町長（右）

与謝野町・宮津市の共同宣言 気候非常事態を宣言

近年、日本を含む世界各地において、地球温暖化を一因とする気候変動により多くの自然災害が発生しています。こうした気候変動への対策は、国、地域を越えて取り組むべき喫緊の課題です。

ゼロ・カーボンシティを表明

与謝野町と宮津市はそれぞれ令和2年3月と6月に、2050年に二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指す表明をしていました。

10月に菅首相（当時）の所信表明演説において、温室効果ガスの排出量を2050年までにゼロにすると宣言され、国会においても超党派の議員によって気候非常事態宣言の国決議がされました。令和3年7月現在、自治体等が、日本では約100の自治体が宣言を表明しています。

宮津市・与謝野町 気候非常事態宣言（抜粋）

宮津市・与謝野町は「白砂青松の景色が広がる天橋立」をはじめ、阿蘇海、大江山など、美しく豊かな自然環境を次世代に引き継いでいく責務のもと、気候が非常事態にあるという危機感を市民・町民・事業者などあらゆる主体と共にし、一丸となって行動するため、ここに「気候非常事態」を宣言し、脱炭素社会の構築など持続可能なまちづくりの実現を目指します。

脱炭素社会の構築に向け、AIやIoTなどのスマート技術を利用するなど、消費エネルギーの最適化を進めるとともに、再生可能エネルギーへの転換（普及・利用促進）など、市民・町民・事業者などの連携した取組をさらに進め、2050年の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量実質ゼロを目指します。

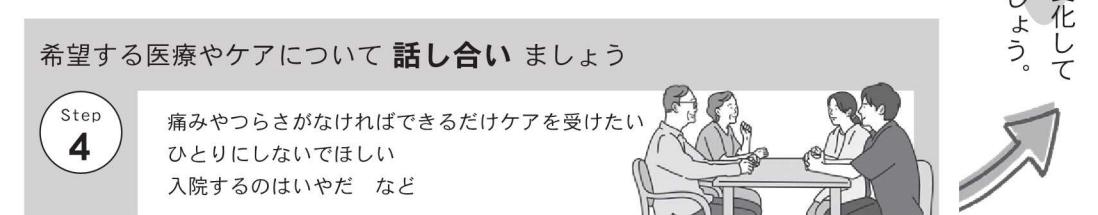
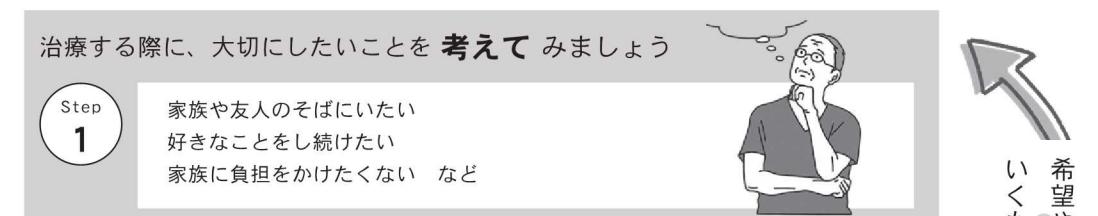
資源循環型社会への転換に向け、市民・町民の一人ひとりがライフスタイルを見直し、社会生活や産業活動における省エネルギーの推進に取り組むほか、Reduce（リデュース・ごみの排出抑制）、Reuse（リユース・再利用）、Recycle（リサイクル・再資源化）の推進と併せ、消費活動におけるRefuse（リフューズ・ごみの発生回避）にも積極的に取り組みます。特に海洋汚染の原因となるプラスチックごみについて、この4Rの推進に取り組みます。

豊かな自然環境の保全に向け、森林の適正な管理やブルーカーボン生態系の活用など、森・里・川・海（阿蘇海を含む）の良好な自然環境の保全に取り組みます。



「人生会議」という言葉をご存知でしょうか？誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫つた状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自身で決めたり望みを伝えたりすることができなくなると言われています。自身が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どのような医療やケアを望むかを自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することを「人生会議」といいます。人生会議は必ずしなければいけないことではありません。生き方の選択肢の一つであり、いつでもやめること、変更することができます。自身で判断できなくなつたその後の人生を、少しでも豊かなものとするために、「人生会議」というものをお知りください。

ACP 人生会議の進め方 — 無理に決めなくてもいいから、いっぱい話をしよう —



いい看取り（看取られ） 11月30日は「人生会議の日」～もしものときに備えて話し合いを～

厚生労働省では、毎年11月30日を「人生会議の日」と定めています。人生の最後を満足して迎えるためには、日ごろから自身がもしものときにどのようなケアを受けたいかを考え、家族やかかりつけ医などと話し合うことが大切

です。最近では、新型コロナウイルス感染症により患した方への面会がかなわず、残念ながら命を落とされた方への看取りができなかつたという報道により、改めて人生の最後に備えることへの重要性が注目されています。

今からはじめる「人生会議」



ACP（アドバンス ケア プランニング）

「人生会議」という言葉をご存知でしょうか？

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫つた状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自身で決めたり望みを伝えたりすることができなくなると言われています。

自身が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どのような医療やケアを望むかを自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することを「人生会議」といいます。

人生会議は必ずしなければいけないことではありません。生き方の選択肢の一つであり、いつでもやめること、変更することができます。自身で判断できなくなつたその後の人生を、少しでも豊かなものとするために、「人生会議」というものをお知りください。

希望や思いは時間の経過や健康状態によつても変化していくものです。何度も繰り返し考えていくましょう。